



8月



ほけんだより

令和7年8月8日
やまだこども園
看護師 森・明時・大川

8月に入り、夏の暑さが続いています。皆さまいかがお過ごしでしょうか？この時期は楽しい行事やお出かけの機会が増える一方で、体調管理には十分な注意が必要です。特に、残暑が厳しくなることが多いので、引き続き気をつけて過ごしていけたらと思います。



すいとう

水痘(水疱瘡)

水痘・带状疱疹ウイルスへの初めての感染が原因で起こる

症状

- ①37～38℃の熱
- ②かゆみの強い赤い発しんが、胴体から全身に、頭部まで広がる
- ③赤い発しんが水疱になる
- ④水疱がにごり、赤黒いかさぶたになって治っていく

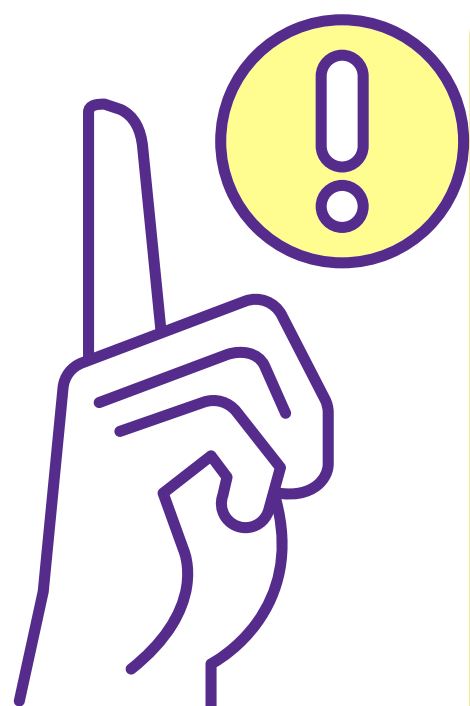
潜伏期間

11～21日(約2週間)

登園再開の目安は、すべての発疹がかさぶたになって医師から登園許可が出てから(医師の登園許可書が必要です)

感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染の3つです。患者の咳やくしゃみによる飛沫を吸い込むことで空気感染や飛沫感染が起こり、水疱の内容物に触れることで接触感染が起こります。



大人が初めて感染した場合は、子どもよりも症状が重くなる傾向があり、肺炎などの合併症を引き起こす可能性も高くなります。妊娠中の感染では、胎児への影響や新生児への影響も懸念されます。

また、水ぼうそうが軽症の場合、発疹の数も少なく発熱も出ないことがあります。そのような場合には気づかない場合も少なくありません。虫刺されと思っていたが、少しずつ数が増えてきた、発疹に痒みがあるなど、水ぼうそうかどうか、はっきりしない場合は、発熱がなくても念のため病院を受診するようにしましょう。